

3 活動状況

3.1 研究開発推進ユニット

総合企画部長 福地 一

ユニット概要

2004年4月1日の独立行政法人情報通信研究機構(NICT)発足以後、NICTは、前身の2機関の役割を融合させて、情報通信技術の研究開発について、基礎基盤から実用化支援まで一貫した統合的な視点でかつ効率的に実施するよう研究開発等の業務推進体制の整備を図ってきた。そのため、NICTは2004年12月に、組織横断的な研究開発ユニットを設置し、基礎基盤から実用化支援まで一貫させた業務運用の加速を図った。

設置した六つの研究開発推進ユニットの概要を表に示す。これらの研究開発推進ユニットは、CRL、TAOの時代から役割を分担して推進している分野、あるいは統合に伴って部門間の一層の連携がプログラムの効率的推進に有効な研究分野を選んでいる。研究開発推進ユニットの構成を図に示す。ユニットには部門長あるいは研究主管のユニット長を配置し、その下にユニット推進チームを設けている。ユニット推進チームには研究主管、室長、グループライダークラスのメンバーを配置してユニット長の補佐を行い、また、ユニットに室員、グループ員等からなるユニット員が部門等の組織横断的に配置され、ユニット業務の推進に従事している。ユニットによっては、外部の学識経験者及び有識者から構成されるユニットサポートメンバー会議を持ち、外部の知見や助言をユニット運営に反映する仕組みを導入している。

ユニット名	目標・特徴	研究開発課題	主たる担当部門
新世代モバイルユニット	<ul style="list-style-type: none"> 次世代の移動通信システムの技術開発の促進 無線通信サービスを安心して利用できる社会の実現を目指す研究開発推進ユニット 	複数無線システムのトランスペアレンシー技術、移動通信における超高速伝送技術	無線通信部門 研究開発推進部門
フォトニックネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの情報伝送処理をすべて光領域で実現するための技術開発の推進 更なる大容量通信によるフォトニックネットワークのための研究開発推進ユニット 	WDM技術の高度化、将来のフォトニックリンク、ノード、アクセスの各技術	情報通信部門 研究開発推進部門
情報セキュリティユニット	<ul style="list-style-type: none"> 災害、サイバー攻撃からネットワークを守るための技術開発や暗号、認証技術等の研究開発の推進 我が国におけるセキュリティレベル向上を目指す研究開発ユニット 	インシデント対策技術、コンテンツセキュリティ技術、暗号等共通要素技術の評価・検証等のネットワークセキュリティ技術	情報通信部門 研究開発推進部門
EMCユニット	<ul style="list-style-type: none"> 多くの機器が無線端末化されるユビキタスネットワーク時代に、人体にも通信にも安全な電磁環境を作るための技術開発の推進 我が国のトータルな電磁環境(EMC)問題解決のための研究開発推進ユニット 	電磁波の生体への影響評価、電磁波セキュリティ、電磁波の精密測定技術	無線通信部門 拠点研究推進部門
光・量子通信ユニット	<ul style="list-style-type: none"> 未開拓研究分野である量子暗号や量子情報通信技術の研究開発、光通信技術開発の促進 日本の光通信の未来を切り開く、パイオニア的な研究開発推進ユニット 	光通信の飛躍的性能向上に資する光デバイス技術、量子暗号や量子情報通信の要素技術	研究開発推進部門 基礎先端部門
研究開発ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> 研究開発ネットを基盤に、研究連携や研究支援を通して、優れたネットワークプロトコルや配信技術開発の促進 次世代ネットワーク技術の高度化のための研究推進ユニット 	JGN II を中核とする研究開発ネットワークの整備、運用、研究開発振興、国際連携を通じた学術貢献、実用化支援、新たなネットワーク利用技術	拠点研究推進部門 情報通信部門

研究開発推進ユニットの構成

ユニット長は、部門長又は研究主管クラスを充て、担当の理事等を配置。

